

羽匠
新地

婦し乃和

題字 長澤 茂

第6号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 小山 勇吉
編集人 米山 進
港北区新羽町1525
☎(541) 0869

明けてまして

おめでとうございます

新羽地区社会福祉協議会

会長 小山 勇吉

「心身障害者と私達」を今年はテーマの一つにし、障害に悩む人にやさしい眼をむけ「いまの時代、みんな一緒に生きるんだね。」の標語を核に、障害福祉活動を図りたいと考えています。

知的ハンデイやからだに障害を負った人達は、以前は家の内に隠したり、施設へそつと入れていた為、近所でも全く気がつかなかった例が耳にしていました。今はちがつてきています。車イスで外出、視力が弱い人の白い杖での歩行と、障害者に出会う社会へと変わりました。

〈新羽杜協では昨年、車イスを二台購入し試行錯誤しながら「車イス対策」に取り組んでいます。

温情

平成六年正月
長澤茂書

す。ですが、まだ私共は心の隅で、ハンデイを負う人に出会ふとみなようなふりして、思いとどまった経験をお持ちではないでしょうか。

生きいきと障害者が暮している町、北海道伊達市の道立太陽の園の職員は、「先ず町の人が慣れてくれたのです」と、

旧年十月一日「天声人語」で語っています。重症の人

も街で買い物や食事が出て結婚し、街なかで普通の生活を地域の人と共に営んでいるとい

います。重症の人のヨダレを見て、後ずさりをする店

員もいた伊達市の人々が、どうやって二百二人ものハンデイを負った方々と一緒に町内に住み、仕事をもち、地域に溶けこんで生活するまでになったのでしょうか。障害者に対して心の变つていった姿を学び、「みんな一緒に生きるんだね」の標語に近づきたいです。

「心に復元力を」

新羽中学校長 田中 栢 対

私が小・中学生の頃、三月の終了式には皆勤賞の表彰がつきものだった。ふだんは医者の世話になることなど一度もないくらい丈夫なのに、夏かぜと胃がいれんが持病で、私が賞をもらえたのは中三の時の一回きりだった。

その夏かぜをひいた時のことをよく思い出す。ケロリンを飲み、夏だというのに綿ぶとんにくるまり、敷布団を抜ける程の汗を絞る。二日休んで三日目に教室のそばまで来た時の不安感が忘れられない。その場から逃れたい気持ちと心がからだ全体にキーンとしみわたる。なんでこんなに重苦しいのか自分にもよくわからない、説明できない。教室に入って友達と言葉を交わすと違和感はいっぺんに消えてしまうのに……。

それまでは何事もなく、又は何とかがんばって当り前にできていたことが、ある時わけもなく急に元に戻れなくなることとあるんだな、と感じていた記憶が蘇る。どんなに傾いても、最後にはきつと体勢をたて直すヨットのよ

うに、力強い復元力を心に秘めて、こどもたち一人ひとりが伸びやかに日々成長していくよう心から期待し声援をおくっています。

研修旅行に参加して

新栄町 蓼谷千鶴子

今回初めて新羽地区社会福祉協議会施設慰問・研修旅行に、町内



会から一人参加させて頂き、和やかな雰囲気ひたれて心から良かったと思えました。

赤城少年院では広々とした敷地に少数の少年達が音楽や数学等の授業中でした。普通の子供と全く変わらず、本当にここが少年院かと思われるほどでした。部屋のベッドにきちんとたたまれたふとんに、カバーのないのが印象的でした。この少年達が卒業した時に、温かく迎えられる社会であってほしいと思います。

また、紅葉と雪化粧の淡峠では、車窓から樹木と美しい夕焼けを見ることが出来て感激でした。

〓入学おめでとう

新羽地区にお住まいになり、今年小学校に入られるみなさまに、杜協より黄色帽子をお贈り致しました。

お子さまの通学・交通安全と、勉学推進の願いをこめ、すこやかに成長することをお祈りいたします。

福祉活動の手助けになればと、折たたみ式車椅子を二台用意致しました。ご使用の方は、民生委員に申し出下さい。

◎ 使用は無料です。



愛の手を



「幸せを皆で分つ赤い羽根」

秋晴れの爽やかな昼下り、器用に電動車椅子を運転して行く青年に出会った。私達でさえ、ひと度街に出れば危険がいっぱいである。ましてや車椅子で街を歩くという事は、どんなに勇気のいる事だろうか。最近障害者用に店や乗り物が改良されているが、それもほんの一部分にしかすぎない。まもなく二十一世紀、障害者も安心して街に出て行ける日の来る事を願って止まない。

また、障害者のためのグループ活動も活発に行われているが、その裏で障害者をささえているボランティアの方々の汗と真心を忘れてはならない。

福祉とは多くの人々と幸福を分かち合う事、どのような障害があろうとも、幸せになる権利はあるはず。私達も力を貸してあげようではありませんか。

新羽町内会長

金堂 豊

第20回新羽地区健民祭

実行委員長 堀内 猛

昨年の大会のような大勢の参加と、グラウンドにあふれる盛り上がりがある限り、地区健民祭はますます発展すると信じています。

20回記念、町会対抗、種目別優勝カップの新設、新羽高校フラバ



ンの出演、横浜市消防音楽隊演奏と見事なドリル演技の素晴らしいには参加者全員がシーンと息を殺して聴き入りました。

ジグゾーパズル、ウルトラクイズ、それ行けファイヤーマン等、新競技も楽しく成功させることができました。

参加者一人ひとりの意気込みと役員の細心な注意の塊りが、大会を拍手喝采で閉じることができたのだと思います。

主任児童・民生委員に



西村 淳さん
選出される

本年一月一日より新しく主任児童委員・民生児童委員制度が施行されました。

当地区では連合町内会の推挙により、大竹町内会の西村淳さんが厚生大臣から委嘱されました。

今後の児童福祉のためご活躍を期待致します。

健康と歩み

大竹町内会 松村 清見

平成四年八月に開かれた第二回福祉講座「笑いと健康」を拝聴してから、私も五十才を過ぎましたので、これからは健康に留意し、常日頃の運動不足を解消するため、毎日歩いて通勤することに致しました。

過去にも何度か実行しましたが今日は雨だから、暑い、寒い、風が吹いている、用事がある、と何か理由を見つけて、気が付くとハンドルを握っているような始末でした。しかし今回意を新たに歩いて歩き始めますと、五十才の身体、足の弱っているのが自分でもびっくりするほどで、何んとか以前のよう

に歩けないものかとあせる思いでした。歩き初めて十日位迄はまるで病人が歩いているような姿だと毎朝見送ってくれる妻から帰宅すると言われガツクリ！

数カ月過ぎますと足よりも軽くなり、そろそろ初心が鈍り始めてきましたので、福祉講座の録音を聴きながら、健康第一故に、発想を変え、雨だから歩こう…にして歩くことを止めないようにしています。わずかに二キロの距離ですが朝夕の街の様子、道端の草花、遠くの風景、夕べにはそれぞれの家庭の

香り、晴れた夜の星空……今度はどうやら続けられそうだねと天の声、振むいても誰もいない夜道、「継続は力なり」、福祉講座ありがとう。

防犯部よりお願い

今年も景気が良くないようですが、このような状況ですと何かと犯罪が多発します。せめて我々が生活する町では悪い話を聞かなくてすむようにしたいものです。

新羽防犯部は少しでも町の犯罪防止に役立ちたいと考えて活動しています。

夜道を明るくする街灯の管理もその一つです。家の近くで消えている街灯に気がつきましたら各町内会の防犯部へ連絡をお願いします。

新羽地区防犯部

飯塚 昭

編集後記

「ふくしの和」では、地域に密着した広報紙として皆様に読んでいただきたいと思っています。

日常感じている事や、福祉に対するご意見、情報、四コママンガ等、お寄せ下さい。

大森・尾山



計 報

平成五年九月

理事 秋本 勇 様

心よりご冥福をお祈り致します。

変わったお年玉
小原 あや
高瀬 祐子



(新田小学校 6年生)